

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 6 年度第 3 回行田市男女共同参画推進審議会
開 催 日 時	平成 2 6 年 1 2 月 1 6 日（火） 開会；午前 1 0 時 0 0 分・閉会；午前 1 1 時 4 0 分
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 2 階学習室
出席者（委員） 氏 名 ◎会長 ○副会長	◎田代美江子委員、○山崎孝子委員、井上文子委員、 茂木美智代委員、山岸泰輔委員、武井知英子委員、 筆 容三委員、西山カツ枝委員、高橋由美委員、 松島 弘委員、大野久美子委員、松村隆史委員、
欠席者（委員） 氏 名	吉田 哲 委員、矢本 政子委員
事 務 局	岡田安弘（所長）、大澤永江（主査）
会 議 内 容	（１）平成 2 6 年度 VIVA ぎょうだ実施事業報告について （２）平成 2 7 年度 VIVA ぎょうだ実施事業計画（案）について （３）第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果に係る審議会の意見について （４）その他
会 議 資 料	・平成 2 6 年度 VIVA ぎょうだ実施事業報告（平成 2 6 年 11 月末現在） ・平成 2 7 年度 VIVA ぎょうだ実施事業計画（案） ・平成 2 5 年度分第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書 ・審議会等への女性の登用状況（平成 2 5 年度） ・平成 2 5 年度分第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	・ 欠席委員の報告 ・ 会議の成立及び傍聴希望者の有無について ・ 会議資料の確認
事務局	次第の２、会長あいさつを田代会長にお願いします。
田代会長	（会長あいさつ）
事務局	議事の進行については、審議会運営規則第３条の規定に基づき、田代会長に議長となっていていただき進めていただきたい。
議長	それでは、議長を務めさせていただく。 議事の（１）、平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告について事務局から説明をお願いします。
事務局	（会議資料１、「平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告（平成２６年１１月末現在）」の詳細説明）
議長	事務局から説明があったが、委員からご質問、ご意見など伺いたい。
松島委員	管理職員の研修は、毎年実施する方向で考えていただきたい。
議長	女性の暴力をなくす運動のつどいの警察署の方の講演は、どうでしたか。
事務局	実際に警察の方の話を聞く機会が無いので、初めて聞いた方からは、たいへん高評であった。

議長	他にあるか。なければ、議事の（２）、平成２７年度 VIVA ぎょうだ実施事業計画（案）について、事務局に説明をお願いする。
事務局	（会議資料の２、「平成２７年度 VIVA ぎょうだ実施事業計画（案）」の詳細説明）
西山委員	１２月に予定されている男女共同参画フォーラムについて、みらいの会場を活用するのは非常にいいことだと思う。以前、VIVAの学習室を使って実施したことがあったが、人数が何人も入らなかったのもみらいでの開催がいいと思う。
議長	他になにかあるか。
山崎委員	関連して、フォーラムの開催時期の関係ですが、１２月は年末で他のイベントが多いことや寒い時期であることから、高齢な方には参加しづらいと思うので、今年と同じ９月か１０月ごろ予定したほうがいいと思うが、どうでしょうか。
事務局	今年のフォーラムも当初１２月の予定であったが、講師の日程調整の中で９月開催となった。９月か１０月ごろで調整する。
井上委員	７月の予定の男女共同参画講座（ワーク・ライフ・バランス等）は、今年度は、何を実施したのか。
事務局	今年度は、井上委員にお願いした年金講座である。
議長	他にはどうでしょう。
山崎委員	９月のお仕事講座(パソコン講座)を１回予定されているが、１回では少ないと思う。

事務局	以前、県のキャリアセンターとの共催でお仕事講座を実施し、参加者の方からのアンケートによると、パソコン講座の要望が多かった。今年度、パソコン講座を考えていたが、金銭的な面で調整が難しかった。
山岸委員	パソコン講座の要望が多いということだが、パソコンでなにを学びたいのか。
事務局	ワードとエクセルである。
山岸委員	ワードとエクセルの講座は、どこでもやっているの、デザイン系の講座があるといいと思う。わたし自身もNPO活動をやっている中で、今年度、埼玉県助成金の応募をしたが、通らなかった。ポスターの作成等の講座をぜひやっていただきたい。
筆 委員	公民館の講座で、初級、中級のパソコン講座をそれぞれ4日間、実施している。高齢者から若者まで要望の多いのは、スマホの取り扱いである。
大野委員	お仕事講座は、なにを目指しているのか。
事務局	これから仕事を再開したいという方のスキルアップを目指している。
松村委員 事務局	参加者は、どのくらいの年齢層なのか。 40歳代から60歳代である。
松村委員	以前公民館でパソコン講座をやったことがあったが、60歳以上の方が多くアクシデントの連続であった。

議長	男女共同参画推進センターの事業として、再就職やキャリアアップなどそういうところに意図があると思う。
茂木委員	前にも提案したことがあるが、夫婦のコミュニケーションセミナーみたいなものができればいいですね。
議長	D V 関係でいうと、加害者プログラムなんかもどうだろうか。知っていれば抑制できる場所もいっぱいある。グレーゾーンをいかにブラックにしないかがすごく重要なことである。知識があると変わってくる。 他にいかがでしょうか。なければ、次に、議事の 3、平成 25 年度分第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果に係る審議会意見について、事務局に説明をお願いします。
事務局	会議資料 3、「平成 25 年度分第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書、会議資料 4、「審議会等への女性の登用状況（平成 25 年度）」、会議資料 5、「平成 25 年度分第 3 次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見」の詳細説明。
山崎委員	意見書の裏面の 3 つ目の V I V A ぎょうだを活用している団体との連携を更に促進するため(仮称)サポートスタッフ制度とは、どういうイメージかわかりづらいので、具合的な表現があったほうがよいのではないか。
議長	(仮称)は制度の後ですよ。
茂木委員	サポートスタッフ制度とは、どういうイメージなのか。
事務局	フォーラムやその他の事業にお手伝いいただくイメージで、ボランティアである。
議長	「団体との連携を更に促進するために」という文言の後にどういうことを入れればよいか。

井上委員	V I V A 行田の行事を手伝うイメージなのですか。
茂木委員	行事をやるときに手伝いが少ない状況である。
議長	わかりやすい表現に考え直すということで、いいか。 確定の前に、皆さんに報告するというところでお願いします。
事務局	はい、わかりました。
議長	他にいかがか。 個別的事項の 3 番目、担当部署とのヒアリング等を実施するとあるが、誰がヒアリングをするのか。これは、この間の話で言うとなたちがヒアリングするような話だが、そのことを意見書の中に入れるのは、変な感じがする。担当部署内でヒアリングするのがいいので、担当部署とのをとってしまうのがいいかもしれない。
松村委員	3 番目の個別的事項、誰がというところの答えは、どういう答えになるか。
議長	これが出てきたのは、前回の会議の中で私たちがヒアリングしましょうという話で出てきたのだと思うが、ここに意見書として出すのはそぐわない気がする。それにしても評価が「D」、「E」のところはほっとかないで、外部で意見を聞くとか意見交換するとかやっていただく方向で書いたらどうか。例えば、ヒアリングというと誰かが聞く形になるので、担当部署内での意見交換を実施し、達成できなかった原因を分析し・・という内容にしたらどうか。
松村委員	個別的事項の 1 番目、なぜその評価になったのかの理由を書かないといけないと思うので、うまくいった理由やまずか

	った理由を書いていただくと評価しやすいと思う。
議長	結局、この文章がこういう意味である。評価の理由を含めた実績報告をしなさいみたいにするといいかもしれない。
松村委員	確認なのですが、裏面の４０％目標は、３０％でなかったのか。
事務局	国の目標が３０％で、プラン作成してから５年後が３０％、１０年後が４０％の目標である。
大野委員	進捗状況調査結果２ページの下水道課の標記は、見本となる。
議長	男性職員の育児休暇制度の活用を積極的に推進してくださいと入れたが、女性職員も取れているのか気になっている。行田市の育休の取得率は悪くなかったのか。
事務局	女性職員については、おおよそ１年間取得している状況である。
松村委員	男性職員の育児休暇制度の活用を積極的に推進してくださいという言葉が案の中にあるが、唐突すぎるかどうか。
議長	推進して見本となってくださいとかはどうか。
山岸委員	休暇が取れる環境をつくってください。
井上委員	トップの考え方も知りたい。
議長	取れないはずはないので、とりにくいのですか。

山岸委員	無理やりにでもとれば、後が続くのではないでしょうか。
議長	前例を作れという感じで、例えば、今ゼロです。この状況を打破するためにも、積極的に前例を作る努力をしてください。みたいのはいかがか。他にいかがか。
松島委員	男女共同参画推進審議会委員から他の委員会の委員になっている方は、参加してみてどのような雰囲気なのか、参考にお聞きしたい。
山崎委員	男性が多い中で、女性が1名または2名ということで、意見も言いづらいが、私は発言しました。男性が20名で、女性が1名、2名だと変な雰囲気であった。
井上委員	防災会議に参加させていただいた。市長他役所のトップの方々がメンバーで、女性は私を含めて2名だけであった。男性は何も発言しなかったが、私たち2名は発言してきた。
茂木委員	行財政改革推進会議に参加し、意見を言える機会はなかった。いろいろ資料を送っていただき、調べて、そこに参加して意見を言った。具体的な返事はその場ではなくて、後程しますということであったが、何も無かった。そこには3名女性が参加していて、しっかり意見をしていた。女性の意見は受け止められにくいのかなと感じている。
筆 委員	女性の意見はきめ細かい。女性の方にも力をつけていただきたい。
西山委員	私は3つの審議会に出ている。日程が重なってしまうときがある。せっかく受けてもどちらかが欠席となってしまう。そういうのをなくすために、重複しないで引き受けられるようなことを考えていただきたい。

議長	他に気になることが無ければ、もう 1 回修正していただいて委員の皆様を送っていただきたいと思います思う。
松村委員	総括的事項の 4 つ目を、個別的事項にしたらどうか。
議長	そうですね。それも含めて、年内に修正して皆様方に確認していただくということでよいか。 次に（４）調査票（案）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	会議資料の 5、「調査票（案）」の詳細説明をする。
松村委員	評価基準について、男女共同参画、男女雇用機会均等法の視点で活動したかどうかという点を具体的にしたほうがいい。例えば意見を平等に出し合ったとか、男女の別なくこだわり無く活動したというような形でどうか。男女の意識をなくすための活動とか、あと一つぐらいあってもいいのですが。
議長	確かに、男女共同参画への配慮というのは具体的になんのことだかよくわからないかもしれないので、平等という言葉を使うのはいいかもしれない。
西山委員	A から D までとあるが、D は削除したので、A から C となります。右側もアからオとありますが、ア～エとなる。
山崎委員	調査票の案ですが、25 年度の計画と 26 年度の計画の標記の仕方を変えたほうがよい。
議長	先ほど大野さんが紹介してくれた下水道課みたいなのがうまく評価できるといい。評価の A, B, C と視点の標記が同じだと混乱するから違う記号にしたらどうか。

松村委員	1, 2, 3 とかの番号にしたらどうか。
議長	例えば、男女共同参画の視点のところに、番号をつけて、該当するものに○をつけるのはどうか。
松村委員	上段のほうに＊評価は担当部署による自己評価と同じような形で記入しておけばいいのではないか。
議長	何が混乱が少なくできるか。たたき台を作っていて皆さんにみていただく。視点が1, 2, 3 でいいかどうかとか、今後の進め方もア、イ、ウでよいか、つめていく。
松村委員	今後の進め方をとってしまったらどうか。次年度の計画がありますから、ここにこだわってしまう可能性もある。
議長	この間の話では、次年度の計画だけだと前年とまったく同じ内容としか書かないところもあるので、それを評価やその反省を活かした形で表現してもらうことにつなげようということで、ア、イ、ウを選んでもらうようにした。私たちがヒアリングをするとしたら、どこをポイントに実施するかということにも関連する。
松村委員	Aであっても継続的に実施しなくてはならない。 B以下が実際に違うことをやらない限りAにはならない。
議長	そうなんです。では、これでいってみるか。
松村委員	ウのところが、B以下の部署の行動計画となる。
議長	各部署の意識と計画を確認することがしやすくなる。 こちらの視点のところで、男女の別なくという言葉を出していただいたが、そういう表現のほうがいいかも。そうすれば

	セクシャルマイノリティや性の多様性の問題なども視野に入る可能性が出てくる。そういう方たちも必ずいるので。
松村委員	活動を推進する上で基本となるのが、性別に関係なくお互いに尊重することだ。その上に事業計画がある。基本を書いとけばいいのかなと思う。
山崎委員	今後の進め方のエの休止・廃止するは、少しおかしな気がするので、全面的に見直すとかにしたらどうか。
議長	いいですね。
山岸委員	視点の方ですが、A，B，Cとあるが、どれにも当てはまらないと空白になってしまうので、例えば、Dとして男女それぞれ意識を持たずに取り組んだとかの項目を入れたらどうですか。
議長	いいですね。男女平等への配慮ができなかった。 配慮でいいのか、微妙ですが。取り組まなければいけないのだから、配慮ではないような気がする。 他にはいかがか。実績のところ、先ほどの意見をいただいたように理由を書いてもらうというのはどうか。＊印の評価を事業の実績の前に移動して、事業の内容のところを理由を含めて事業内容を書くことにしたらどうか。具体的に記入するところは、違う例を考えていく。これは、各部署にいつ出すのか。
事務局	来年の４月である。
議長	今日の意見でほぼ終わりなので、各部署に出す前に委員の皆様へ送付していただいてご意見をいただくということで、送付をお願いします。

山岸委員	行田青年会議所が、公益社団法人になったので、冠を変えていただきたい。
議長	他になにかあれば是非ご意見を聞かせてください。
高橋委員	今の子どもは、生きる力が低下しているように思える。 学校教育とか市の行事の中で、便利な生活ではなく、昔の生活に戻った体験をするような自分で身体を動かさないと生活ができないんだという状況をつくって貰えるといいかなと思う。男ではなく女ではなく、誰もが自分の生活をおくっていかなければならない。
武井委員	特に男女どうのこうのという職場ではないのかなと自負している。先ほどのお話の中で子どもたちの体験が不足していて、生きる力が弱っているのかなという指摘がありましたが、確かにマッチの使い方にしてもできない子が多い。子どもだけではなく、私たち大人の責任だと思う。いま現場では教職員の年齢が二極化しており、50歳代の教員が少なく、逆に20歳代が増えている状況ですが、真ん中が空洞化している。そういった面で20歳代の先生でもマッチの使い方ができない状況である。そういったことから教育現場では若手の教員の育成に力を入れるようにしている。
議長	その他、事務局からなにかあるか。
事務局	今年度の事業の中でも説明しましたが、3月13日に予定しているリーダーステップ研修「災害、防災と男女共同参画」というテーマで、埼玉県職員の方に講師になっていただき、研修を実施する。皆様にも案内を送付するので、参加についてお願いします。

議長	以上ですべての議事を終了とする。 長時間にわたり御審議いただき感謝する。 議長の任を解かせていただく。
山崎副会長	閉会のことば